

平成 30 年度第 1 回  
我孫子市いじめ防止対策委員会

日 時 平成 30 年 6 月 8 日（金曜日）  
午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分

場 所 我孫子市教育委員会 大会議室

# 平成30年度 第1回いじめ防止対策委員会

平成30年6月8日（金）  
我孫子市教育委員会大会議室  
15:00～

## 1 開会（センター長）

## 2 会議の公開について …（センター長）

- ・傍聴に関する注意事項の確認

## 3 我孫子市いじめ防止対策委員会の設置について…（センター長）

- ・「いじめ防止対策委員会」設置要綱についての確認

## 4 委員の紹介（自己紹介）

## 5 いじめ防止対策についての取組

○議長：本日の議事に入る前に、設置要綱の第6条（調査部会）についての確認です。

重大事態に係わる調査に、市の職員でない村田委員・櫻井委員・佐藤哲委員・久米委員の4名に引き受けていただき、さらに代表には佐藤哲委員に就いていただいています。この調査部会が開かれなくて済むように取り組んでいきたいと思っております。

では、取り組みについて、報告してもらいますが、項目全体を報告してもらい、そのあと意見交換をお願いします。

まず（1）「昨年度のいじめアンケート集計結果と課題」からお願いします。

### （1）「昨年度のいじめアンケート集計結果と課題」（センター長）

\*昨年度第2回のこの委員会で報告しておりますが、新しい委員さんもおられますので、ここまでの概要について報告をします。資料P5をご覧ください。平成23年度からの推移が載せてあります。

- ・認知数の推移について、年2回実施し、6月と11月では、11月の方が減少傾向にあります。仲間の理解や解決力も高まるからであろうととらえています。
- ・学年別に見ると、小学校では2・3・4年生に、いじめられているという回答が多いが、調査してみると、すぐに謝って解決するような内容、軽微なものが多く含まれています。5年6年と学年が進むにつれ、減少傾向にあります。
- ・スマートフォンの利用についての調査ですが、時代の流れもあり、小中学校とも所持率が増加しており、小学校では約半数の児童が、中学校では約8割の生徒が持っています。小学生では子ども用の携帯電話・スマートフォンが多いですが、中学生だとスマートフォンが7割に上り、活用の用途が広がるからだと考えられます。「何をしているか？」についても、ラインやメール、ネット検索など多方面へのつながりがあります。

## (2) 「今年度の取組み」(センター長)

- ・「いじめについてのアンケート」の実施については6月と11月に予定しております。
- ・Q-U検査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)については年2回小学3年生から中学2年生対象に行います。
- ・道徳教育の充実については、教科化にともない、指導内容の充実を目指すとともに、いじめに関わる内容では深く考えさせていきたいと思ひます。
- ・情報モラル教育の実施や、教職員研修について、県や市の研修会が数多く予定されているので、積極的な参加を促し、実のある研修等にしていきたいと思ひます。
- ・一年間の流れは、P7の実施計画に書かれています。着実に実施していきたいと思ひます。
- ・「いじめのサイン」チェック表についてですが、昨年度各学校に活用をお願いしましたが、より細かくチェックしやすいように手直しし、学校編、家庭編として活用していきたいと思ひます。また、「いじめられている子」だけでなく「いじている子」のチェック表や小学校では発達段階に応じて低・中・高学年用に分け、活用していきたいと思ひます。さらに、今年度は各学校の実施状況の把握をしていく予定です。

## (3) 「昨年度のQ-U検査を基にした取組と今年度の取組」について(センター長)

- ・Q-U検査は年2回実施しており、その活用効果については、不登校になる可能性が高い子やいじめを受けている可能性の高い子、意欲が低下している子の早期発見につなげることができます。

### ・プロット図について

この検査では、その子がどの位置にいるのかが図表で表れます。質問例として、「嫌なことを言われたり、からかわれたりして辛い思いをすることがありますか」「……クラスにいたくないと思うことがありますか」「休み時間などに一人ぼっちであることがありますか」などがあり、いじめられていないかを見極めていきます。

図の左下の学校生活不満足群に位置する子、特に「要支援群」に位置する子は心配な子です。「要支援群」に位置する子は、おとなしく、周囲との関わりが消極的で、休み時間など一人で過ごすことが多かったり、時には悪口を言われたり、学級にいたくないという思いを持っていたりします。また、いじめや悪ふざけをうけている可能性があり、学級の中で自分の居場所を見いだせないでいることが多いです。このように「Q-U検査」から見つけられることがあり、今後も「いじめアンケート」とともに活用していきたいと思ひます。

P17は今年4月に市教育委員会の取組の一つが新聞に掲載されました。「いじめ防止対策担当主事」である佐藤主事に関する記事です。市内小中学校を訪問し、児童生徒の様子を観察して、アンケートやQ-U検査結果を学校と共有しながら、状況把握、いじめ解消に努めています。

#### (4) 「情報モラル教育」について (センター長)

- ・小中一貫教育基礎カリキュラムの「情報モラル教育モデルカリキュラム表」をご覧ください。全てがいじめに関係するわけではありませんが、小学1年から中学3年の中で計画的に、「ルールやマナー」「相手を思いやる使用の在り方」などを学べるよう作成してあります。

#### (5) 「小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン」について (センター長)

- ・我孫子市ではホームページに載せてあるように、教育研究所に「小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン」を設置しています。電話・メールで直接相談できるホットラインです。これに関するリーフレットも市内小中学生全員に配布していますが、さらに保護者・子どもたちに知ってもらい、悩みを解消してほしいと思います。

## 6 意見交換

○議 長 : それでは、事務局から報告がありました件を中心に、意見交換の時間として進めていきたいと思います。

- ・「いじめのサイン」チェック表については、昨年度より学校に周知しましたが、今年度は、利用しやすいように内容の検討や分類など改善をしています。また、実際の活用状況を把握し、効果や改善点をまとめていきたいと思います。
- ・近隣市町村で使っている「いじめ相談のアプリ」についてですが、「当市でも活用してはどうか？」というご意見があります。市としてもその効果等について調べております。「無料アプリ」とありますが、実際には登録料などの費用がかかります。また、運用面や利用状況、実質的效果等の課題もあり、今すぐに採用する予定はありませんが、今後も十分に検討していきたいと考えています。
- ・教育委員会議においても、いじめに関することも取り上げ、アンケート結果やその取り組みについて説明し、ご意見を伺っております。
- ・事務局から付け足しなどありましたらお願いします。

\*佐藤主事 : 4月中旬から学校訪問していますが、その中で感じることは、校長先生が細かな点まで把握していることです。「〇〇さんの家庭での様子はどうですか？」などの質問に「今の状況は……」と説明していただけます。子どもの様々な状況を把握していることに安心感を持ちます。

もう一つ、本日、ある学校から「トラブルが発生している。いじめの要素もあるので、来てもらえないか」という連絡をもらい、対応してきました。大きな問題になる前に相談があった例であり、いじめ問題には、「教育委員会が積極的に関わっていく」という姿勢が、学校にも浸透してきたのかなという見方もできると思います。

○議 長 : いじめ問題に関して我孫子市としては、早急に、多くの大人が関わっていくことが大切だと考えています。

**\*センター長**：アンケートについてですが、中学生に聞くと、自分だけ時間をかけて書いていると、「あいついじめられているのかな？」と思われたりして、本当のことを書けない人もいるのでは…という意見がありました。その調査の仕方についてはいろいろな手段があると思いますが、学習課題などと同時に配付し、アンケートが終了したらその課題をやるというような工夫でも心配は軽減されると思います。そのような配慮の中で実施していただくよう各学校にお願いしました。

**○議長**：アンケートについては、今回も改善をしていますが、教育委員さんやこの会の委員の皆さんにご意見をいただきながら、より良いかたちで実施していきたいと思います。今回は第1回目であり、アンケート調査中ですので新しい集計結果はありませんので、事務局からの説明が主たる内容でした。他にご意見等ないようでしたら、諸連絡について、事務局をお願いします。

## 7 諸連絡 (戸塚センター長)

- ・次回第2回は、10月19日(金) 15:00～ 市教委大会議室
- ・第3回は、2月20日(水) 15:00～ 市教委大会議室

**○議長**：本日の会議の冒頭に、傍聴人の件で説明がありましたが、進めていく中で、個人情報に関わる内容の場合、公開を一部制限させていただくことがございますのでご理解ください。

## 8 閉会